

# 富士市立中央病院 病院だより

第 14 号

発行:平成23年10月20日



【Proud! Japan運動】

東日本大震災の被災地で、苦しいながらも秩序を守り助け合う被災者や救援活動を行う方々を「日本の誇り」と称え、ロゴマークを通じてエールを送ろうという運動です。

## 未来へとつながる 職業体験

当院では学生の夏休みに合わせ、小中高校生を対象としてさまざまな職場体験を実施いたしました。当院の職場体験に参加した事によって社会で働く事の厳しさを知るとともに、病院で働くとはどのような事なのかを感じていただけたと思います。学生のみなさんにとって、当院での経験が進路を考えるきっかけや将来の職業選択の参考になれば幸いです。

8月2日(火)、「高校生1日ナース体験」が行われました。これは、高齢社会の中で将来を担う高校生が看護に理解と関心を寄せ、一人でも多くの生徒が看護職への進路を選択されることを期待して、看護協会が実施しているものです。当院では、市内の高校生を対象に昭和60年より継続しております。

今年は35名の高校生が参加し、病院内の見学や実習を行いました。病棟実習では入院患者さまと直接触れ合い、洗髪や足浴、食事の配膳などを体験しました。

参加した生徒たちからは、「患者さんの‘ありがとう’の言葉が嬉しかった」「看護師の仕事は大変そうに見えたが改めて看護師を目指そうと思った」などの言葉が聞かれました。



1日ナース体験

8月10日(水)、市内の高校生による1日病院職場体験が行われました。この事業は、医師・薬剤師を目指す市内の高校1・2年生に対して実際の医療現場を体験する機会を提供することで、将来の富士市の医療を担う医師等を育てることを目的に実施しており、今年で6回目の開催となりました。

今回は例年より参加生徒が多く、富士高の1年生15名、富士東高の1年生1名・2年生6名の計22名が参加しました。

院内見学では臨床検査科・中央放射線科・栄養科などの現場を見て回り、午後の職場体験では内科・循環器内科・小児科・外科・脳神経外科・産婦人科・薬剤科へそれぞれ分かれて職場体験をしました。また、富士高出身の先輩医学生や当院の津嶋皮膚科部長から貴重な体験談を聞き、高校生たちは医師として病院で働きたいという意欲を、さらに掻き立てられた様子でした。



1日病院職場体験

8月12日(金)、小学校4-6年生と保護者22組が当院を訪れ、中央病院で働く医療職の仕事について学びました。

これは、まちづくりセンター西部ブロックが主催している職業体験講座「おしごと体験! なりきり隊」として、当院が実施している「出前講座」“10代のハローワーク～医療技術者編～”にお仕事体験をプラスして実施したものです。

当日はまず、医師・看護師職以外の病院で働く薬剤師・作業療法士・臨床工学技士等、各資格を取得する為の条件や病院内での役割を学びました。その後、臨床検査技師の仕事として顕微鏡で血液中の細胞を観察したり、診療放射線技師の仕事では実際に金属を使ってMRIの磁石の吸引力を体験したりしました。



10代のハローワーク

中央病院「出前講座」に関するお問い合わせは、病院経営課(内線2221)まで

# びょうしん れんけい 当院では『病診連携』を推奨しています

当院では、医療機関の機能分担や専門化を進め、より質の高い医療を効率的に提供するために、**病院と診療所が連携する『病診連携』**を積極的に進めております。

『病診連携』とは、患者さまの病気や治療の医療情報を「かかりつけ医：診療所」と「病院」で共有し、1人の患者さまを2人の主治医と一緒に（共同で）支えていく医療サービスの形です。

## ○病診連携を活用した上手な診療の受け方

患者さまには、身近な「かかりつけ医：診療所」の受診をおすすめします。



精密検査や専門的な治療、入院治療が必要な場合は、「かかりつけ医：診療所」から当院へ紹介されます。  
(診療所で受診日等の事前予約をしていただくこともできます)



症状が安定または軽快して、当院の治療が一段落しましたら、患者さまのご意向を尊重しながら「かかりつけ医：診療所」へ当院から紹介いたします。



## ○病診連携には以下のメリットがあります

- ◆ 紹介状をお持ちいただくと、病院での特定初診料が徴収されません。
- ◆ 紹介状と受診予約がありますと、待ち時間が短縮できます。
- ◆ 紹介状をお持ちいただくと、担当が専用の窓口で受付をいたします。
- ◆ 身近な「かかりつけ医：診療所」と連携することで、同じ検査を受けるということが少なくなり、効率的・効果的に治療を進めることができます。

お問い合わせ：地域連携室 内線 2917

# 富士市立中央病院診療日程表

平成23年10月1日現在

診療科 (部長名)		月	火	水	木	金	備考
内科 (代謝一般内科) (藤井常宏)  (呼吸器内科) (木村哲夫) (腎臓内科) (笠井健司) (消化器内科・肝臓病)	初診	山中	小野	井内	高橋	塩崎	水曜日の谷口医師の診察は、午後予約のみ  木曜日の平野医師の診察は、午前予約のみ
		藤井	山城	五條	藤井	五條	
		五條		谷口	五條	山城	
		木村	木村	木村	木村		
		福井	笠井	福井	福井	笠井	
神経内科		(休診)	森田	高木	河野	森田	《初診は完全紹介状制》 木・金の診察は午後2時～4時、水は午前9時～11時
循環器科 (循環器内科) (三川秀文)  (心臓血管外科) (田中 圭)	初診	阪本	(交替制)		山崎	富永 浦部	金曜日の富永医師の診察は、奇数週 金曜日の浦部医師の診察は、偶数週 《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
		山崎	三川	三川	三川	三川	
		田中			浦部	阪本	
小児科 (瀬川孝昭)		江間	千葉	千葉	江間	千葉	
外科 (梶本徹也)	初診	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	火曜日の午下が平本医師、午下が松本医師の診察 水曜日の午下が共田医師、午下が阿部医師の診察 ※はヘルニア・下肢静脈瘤外来 木曜日の森川医師の診察は、偶数週の午後2時～4時
		小山	坂本	毛利	坂本	毛利	
		共田	平本/松本	共田/阿部	小山	熊谷	
		梶本 (交替制)※	良元	梶本	平本 森川	良元	
整形外科 (田邊登崇)		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制》 《水曜日は初診のみ(紹介状制)》 《水曜日の初診受付は、午前9時半から午前11時まで》
		飯田	久富 平松		久富 平松	飯田	
脳神経外科 (諸岡 暁)			秋山		山本		《水曜日は初診のみ》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ
		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	
形成外科 (平川正彦)		平川	(交替制)	岸	平川	岸	《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
泌尿器科 (後藤博一)		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科 (窪田尚弘)	初診	窪田	中島	鈴木	原	乙咩	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診
		中島	原	小田	窪田	鈴木	
		原	乙咩	窪田	鈴木	中島	
眼科 (藤谷暢子)		藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	
耳鼻咽喉科 (高柳博久)		石垣	高柳	(交替制)	石垣	(交替制)	金曜日は初診のみ
		吉田	(交替制)	吉田	高柳		
皮膚科 (津嶋友央)		津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週 水曜日の青島医師の診察は、偶数週
		青島	青島	青島	青島	青島	
放射線科				(担当医)		(担当医)	←治療外来(初診は完全紹介予約制) ←診断外来
		成尾	萬/東条	清水/鱈井	(交替制)	成田/松井	
		竹永	竹永	竹永	竹永	竹永	
歯科口腔外科 (勝山直彦)		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	川瀬医師・高橋医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、木曜日は第1週と第3週
		井出	井出	井出	井出	井出	
		中川	中川	中川	中川	中川	
			川瀬/高橋		川瀬/高橋		

※都合により、内容が変更になることがあります。

## 医師の人事異動について

病院総務課 内線2217

診療科	退任医師名	就任医師名
	退任日:平成23年7月31日	就任日:平成23年8月1日
泌尿器科	モリ タク 森 武	ジュン 潤 ヤナギ サワ 柳 澤 孝 文
形成外科	ミヤ チ ユ 宮 地 有 理	
歯科口腔外科		タ ミヤ ジュン コ 田 宮 旬 子
	就任日:平成23年10月1日	
産婦人科		オ タ トモ アキ 小 田 智 昭

## 神経内科外来の休診日について

平成23年9月より、毎週月曜日の神経内科外来は医師不在のため休診とさせていただきます。  
ご迷惑をお掛けして大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

## 脳神経外科

# 各科紹介

脳神経外科は26万人都市の総合病院の一診療科として、脳出血・脳梗塞・くも膜下出血などの脳血管障害、多発外傷に含まれる頭部外傷、脳腫瘍などの脳神経外科一般の診断と治療にあたっています。市民のみなさんに高いレベルでの幅広い治療を提供できるようにと、大学などと連携をとって血管内治療や脳内内視鏡を用いた治療も積極的に行っております。また、脳外科だけではなく神経外科として脊椎脊髄外科、末梢神経外科の手術も行っています。

スタッフは、ベテラン3人と若手1人の計4人で、夜間休日はオンコール体制(呼び出しに応じて勤務に戻れる状態)であたり、1年365日24時間、診療をストップさせることはありません。御多分に漏れずマンパワーは充分とは言えず、仕事が立て込むと疲労の色は隠せませんが、強い使命感をもっ

て日々の診療に当たっています。

経験、技術とも十分なので、安心して受診していただけたらと思います。



(脳神経外科スタッフ)

## 病棟紹介 ~6A病棟~

6A病棟は、主に血液疾患、糖尿病、高齢者の肺炎などの患者さまが入院されている内科病棟です。ベッド数は50床あり、治療設備として無菌室を3床有しています。スタッフは、医師5名、看護師31名、医療補助員3名の合計39名で構成されています。

昨年度は156名の患者さまが糖尿病で入院されました。糖尿病専門医と病棟配属の薬剤師及び糖尿病療養士の資格を有する看護師4名を中心



(6A病棟スタッフ)

に、合併症の早期発見と予防の看護に努めています。特に食事療法・運動療法・薬物療法において、患者さまが現実的な目標を達成する過程のお手伝いを個別にします。さらにフットケア専門の外来看護師と連携して足のケア(タコ・巻き爪等)を行い、生活の質が低下しないための支援を行っています。

血液疾患の患者さまに対しては、良い環境で化学療法を受けていただくために、細やかな対応を心がけております。

高齢者の患者さまに対しては、入院による環境の変化に対応していただくため、急性期を脱した頃より車椅子乗車やリハビリテーションを取り入れて入院生活にリズムを付けています。また、退院後の生活を不安無く過ごしていただけるよう、退院調整看護師と連携し在宅ケアと転院の方向性をご家族と検討しております。

平成23年度の病棟目標の「あたたかい言葉と心配りの看護を提供する」を基本に、思いやりのある看護を行っていきます。

## 開院記念式典・院内学術集会

昭和59年8月28日に当院が現在の地へ移転開設したことを記念して、8月26日(金)に開院記念式典・院内学術集会および病院解剖物故者慰霊祭が実施されました。

慰霊祭では、医学の発展のために病理解剖された方々の霊に対し追悼の意を表し、献花が行われました。

院内学術集会では、診療部・看護部・診療技術部から10組の研究発表があり活発な討論が行われ、各分野の連携強化や市民の皆様へ提供する医療の質の向上を図りました。



(院内学術集会の様子)

## 防災訓練・対応マニュアル改正

3月11日の東日本大震災では津波の恐ろしさを思い知らされました。

中央病院は潤井川沿いに立地していることから、今回の震災を教訓に津波の遡上に備えるため、津波警報が発表されたらすぐに職員が来院者を誘導し、病院2階以上へ避難するよう体制を整えました。

その検証として9月1日(木)の防災の日は、1・2階の各部署職員へチラシを配布し、避難誘導の手順を確認しました。



(チラシ配布の様子)

## 花壇設置の報告

当院では7月、富士市花の会さまの協力のもと正面玄関脇へ花壇を設置いたしました。癒しの空間として皆さまに楽しんでいただければと思います。11月には花の植替えを行いますので、ぜひご覧ください。

写真はこの夏に植えたポーチュラカ(100苗)の様子です。花壇の大きさは6.8平方メートルあります。



## 糖尿病キャンペーンのお知らせ

毎年11月14日は国連が定める「世界糖尿病デー」で、全国各地で普及啓発のイベントが開催されます。富士市でも毎年開催され、当院からは医療関係者らが血圧や血糖値の測定を実施し、その結果からアドバイスなどをいたします。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。

### ■富士市でのイベント概要

日時: 11月12日(土) 12:00~14:30

場所: イオン富士南ショッピングセンター

主催: 富士市立中央病院

◎お問い合わせ: 病院経営課 内線2221

## 院内コンサート開催のお知らせ

12月13日(火) 18時30分~19時30分、当院の1階エントランスホールにおいて院内コンサートを開催いたします。

このコンサートは、入院中の患者さまや付き添いのご家族、また地域の皆さまに音楽で楽しいひと時をお過ごしいただきたいと思い企画いたしました。

市内で広く活躍されて、昨年も演奏していただき好評を得た“元吉原ウィンドアンサンブル”のみなさんの演奏をぜひお聴きください。



(昨年の院内コンサートの様子)



## 総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

- 看護相談(がん相談含む)・よろず相談  
..... 患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
- 医療安全相談..... 受けた医療に関して疑問や不安があるが医師に相談しづらい事など、専従のリスクマネージャーがご相談に応じます。
- 医療福祉相談(健診含む)..... 患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918)

受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30 ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をおかけください。

### その他の病院内の相談は・・・

- お薬相談 相談室(お薬渡し口隣り)  
月～金 8:30～17:00  
お問い合わせ:薬剤科 内線2126
- 栄養相談 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)  
月～金※予約制です。  
お問い合わせ:栄養科 内線2146
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明 中央検査相談室(2階)  
月～金 8:30～17:00  
お問い合わせ:臨床検査科 内線2267
- フットケア相談(糖尿病患者さまの足のケア) 内科外来(2階)  
第2・第4水・木曜 13:30～15:30  
お問い合わせ:内科外来 内線2285
- 医療放射線被ばく相談 放射線科外来(1階)  
火・木曜日 午後  
お問い合わせ:中央放射線科 内線2153



### 各種教室の紹介

患者さまとご家族さまを対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146  
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337  
日時:毎月3回 13:00～15:00

### 出前講座の紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で61メニュー、全て無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

詳細は当院ウェブサイトまで  
<http://fujishi.jp/~byoin/>  
お問い合わせ:病院経営課 内線2221

## 富士市立中央病院 Fuji City General Hospital

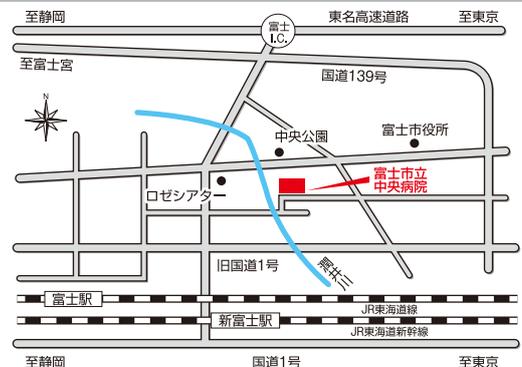
～平成23年度病院指針～「あたたかい心配りが第一歩」

〒417-8567 静岡県富士市高島町50  
電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077  
E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp  
ウェブサイト: <http://fujishi.jp/~byoin/>

#### アクセス

富士ICより 車で10分  
東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分  
東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願いします。  
電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



相続・贈与・遺言・会社設立・役員変更等各種登記  
契約トラブル 労働問題 クレジット・サラ金問題など  
お気軽にご相談ください!!

## FUJI SHIHO-SHOSHI 藤司法書士事務所

司法書士 鈴木 一郎  
富士市青葉町327番  
TEL 0545-30-7555

どうぞお気軽にご相談下さい

間違いない補聴器選びをお約束



お客様本位の接客姿勢  
安心の貸出しシステム  
ご購入後の再調整まで

富士市石坂  
大淵街道沿い

お身体が不自由で来店  
できない方はスタッフが  
出張いたします!

富士市石坂 85-16  
TEL・FAX  
0545-53-2365

営業時間  
9:00～17:00  
日・祝日定休 駐車場有

富士宮補聴器センター  
夫婦店 (富士市石坂)

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

「病院だより第15号(1月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222